

(補償コンサルタント業務の記載例)

所在地 ○○○
商号又は名称 ○○○

日付、宛名、代表者名
及び押印は不要です。

所在地、商号又は名称
を記入してください。

業務委託費内訳書

業務番号	第○○○号
業務名	○○○業務
業務場所	○○○市○○○

業務番号、業務名、
業務場所を記入してください。

工事区分・工種・種別	単位	数量	単価(円)	金額(円)	備考
直接人件費(A)	式	1		○○○	←
共通 打合せ協議	業務	1	○○○	○○○	←
共通 作業計画の策定	業務	1	○○○	○○○	←
建物等の調査 現地踏査	業務	1	○○○	○○○	←
建物等の調査 建物の調査	棟	2	○○○	○○○	←
建物等の調査 建物の調査	棟	1	○○○	○○○	←
建物等の調査 工作物の調査	戸	1	○○○	○○○	←
建物等の調査 建物等の残地移転要件の該当性の検討	権利者	1	○○○	○○○	←
営業その他の調査 動産に関する調査及び算定	戸(世帯)	1	○○○	○○○	←
営業その他の調査 その他通損に関する算定	所有者・世帯	1	○○○	○○○	←
直接経費(B)	式	1		○○○	▼
材料費等	式	1		○○○	▼
旅費交通費	式	1		○○○	▼
直接原価(C)=(A)+(B)	式	1		○○○	▼
その他原価(D)	式	1		○○○	▼
業務原価(E)=(C)+(D)	式	1		○○○	▼
一般管理費等(F)	式	1		○○○	▼
業務価格(G)=(E)+(F)	式	1		○○○	▼
業務価格(1万円未満切捨て)(G)	式	1		○○○	▼
業務価格 (入札書記載金額)				○○○	

直接人件費の内訳については、
単位を一式と記載せずに、単位・数量・単価・金額を記載してください。

各工種等の見積金額の総額(業務価格)になります。この金額は、入札書記載の金額と必ず同額になります。

費目(項目1) 【レベル1】	種別				数量	単位	業務単価	金額	摘要
	項目2 【レベル2】	項目3 【レベル3】	項目4	項目5					
直接人件費	共通	打合せ協議	打合せ協議	—	1.0	1業務			第1号代価表参照
	共通	作業計画の策定	作業計画の策定	—	1.0	1業務			第2号代価表参照
	建物等の調査	現地踏査	現地踏査	—	1.0	1業務			第3号代価表参照
	建物等の調査	建物の調査	木造建物の調査及び算定	木造建物A 70㎡未満	2.0	1棟			第4号代価表参照
	建物等の調査	建物の調査	木造建物の調査及び算定	木造建物A 70㎡以上130㎡未満	1.0	1棟			第5号代価表参照
	建物等の調査	工作物の調査	附帯工作物(敷地内の立竹木を含む)の調査及び算定	住宅敷地B 150㎡以上200㎡未満	1.0	1戸			第6号代価表参照
	建物等の調査	建物等の残地移転要件の該当性の検討	建物等の残地移転要件の該当性の検討	—	1.0	1権利者			第7号代価表参照
	営業その他の調査	動産に関する調査及び算定	動産調査	—	1.0	1戸<世帯>			第8号代価表参照
	営業その他の調査	その他通損に関する算定	移転雑費	—	1.0	1所有者・世帯			第9号代価表参照
人件費			(A1)						
賃金			(A2)						
直接人件費			(A)=(A1)+(A2)						
材料費等(1万円未満切捨て)			(B1)=(A)×7%						
旅費交通費			(B2)						
直接経費			(B)=(B1)+(B2)						
直接原価			(C)=(A)+(B)						
その他原価			(D)=(A)×{α/(1-α)} α=35% {}は%表示の小数第3位四捨五入						
業務原価			(E)=(C)+(D)						
一般管理費等			(F)=(E)×{β/(1-β)} β=35% {}は%表示の小数第3位四捨五入						
業務価格			(G)=(E)+(F)						
業務価格(1万円未満切捨て)			(G)						
消費税等相当額			(H)=(G)×10%						
合計			(G)+(H)						

※本様式において誤脱・未記入がある場合は「入札書における失格・無効基準」の取扱いに準じ、失格となることがあります。また、添付もれの場合は失格となります。

※レベル1、2、3の各計や、業務価格(入札書記載金額)で端数調整をすることのないようにしてください。

※1式と記載する場合、単価欄は記載不要です。(直接人件費の内訳については、単位を1式と記載せずに、単位・数量・単価・金額を記載してください。)